

歴史書

11

2012
No. 204



通信

評伝を書く楽しみとむずかしさ／伊藤 之雄

歴史書新刊ニュース〈9・10月〉

歴史書以外の人文社会図書新刊案内〈9・10月〉

歴懇リバイバル2012年フェア出品書目・参加店一覧

歴史書懇話会

評伝を書く楽しみとむずかしさ

伊藤 之雄

(京都大学教授)

歴史小説との差はあるか

私はこれまで、明治天皇・西園寺公望・山県有朋・伊藤博文・昭和天皇の順に、五冊の評伝（伝記）を書いてきた。最後の『昭和天皇伝』では、司馬遼太郎賞を頂くという幸運に巡り合った。受賞記念記者会見での審査委員の講評で、これまでの評伝執筆活動全体が評価されたように感じた。

イギリスやアメリカ合衆国では評伝が盛んで、良質の評伝も多く、それをもとに映画やテレビドラマも数多く作られている。私の印象に残っているものの一つに、ニクソン米大統領の生涯を描いた「ニクソン」(アンソニー・ホプキンス主演)がある。優秀であるが貧しい家に生まれたため、ハーヴァード大学に行けなかった青年が、ケネディなど、リベラルなアメリカのエリート層に反感を抱きながら刻苦勉強して上昇するが、悪い政治手段に手を染めて自滅していく物語である。悪徳大統領の代名詞のようにになっているニクソンだが、この映画をみると、ニクソンのやったことは悪いとわかっていても、この人間に共感すら抱いてしまう。アンソニー・ホプキンスが丁寧に演じているばかりでなく、元に

なっただいくつかの良質の評伝があり、脚本がしっかりしているからである。

評伝を書くのはどのような作業なのか。それは、評伝の主人公たちが、彼らの生きた時代の中で、希望を持ち喜びを味わったり、失望し苦しみをなめたりしながら、成長していく（あるいは絶望、退廃していく）姿を描くことである。また主人公の人生を通して、彼らの生きた時代を現代人に見せる作業でもある。すなわち、過去の時代に生きた人間を描き、現代に生きる私たちに、共感あるいは反感を呼び起こすことであろう。

そう考えると、研究者が書く良質の評伝も、良質の歴史小説も、対象とする人間や時代の本質を描くという意味において、究極的に大差はないようにも思われる。確かに、研究者の中には、歴史小説について、史料の裏付けなく書いている、と批判する者もいる。他方、研究者が書いた評伝の中には、対象人物の性格や、その人物がその時代とどのように関わり、時代にどのような影響を及ぼしたのかを明確に書かず、史料的裏付けのある「事実」を連ねただけのようなものもある。こういう「年表」のような作品では、誤った記述はな

いかかもしれないが、読書欲は刺激されない。人間や時代の本質を描いた良質の歴史小説の方が、歴史書としてもはるかに優れているのではないか。

評伝のための準備

ところで、私が書いてきたような政治家の評伝を書くには、その政治家が活躍した時代の政治・外交の状況を十分把握していることが必要だろう。評伝を書きながら、政治外交上の事件について知るために、多数の研究書や論文、史料を読んでいるようでは、主人公の人となりや時代との関わり等についての考察に集中できず、焦点の定まらない評伝になってしまう。

このためには、評伝の主人公の生きた時期の主要な政治外交上の問題について、研究書や論文をできるだけ多く書いておいて、評伝の主人公の生きた時代と事件を十二分に理解しておく必要がある。私自身を振り返ると、評伝を書くことのみ意識していたわけではないが、『大正デモクラシーと政党政治』『立憲国家の確立と伊藤博文』『立憲国家と日露戦争』『昭和天皇と立憲君主制の崩壊』『京都の近代と天皇』『伊藤博文をめぐる日韓関係』などの研究書、通史『政党政治と天皇・日本の歴史22』や論文、あるいは自治体史等、かなりのものを書いてきた。

しかしこれらは、映画でいえばロケ地、演劇なら舞台装置に似ている。評伝を書くには、主人公に即した史料収集が必要となる。対象の人物に

関する日記・手紙・書類などの一次史料を集め、近代以降なら、さらに新聞・雑誌上での彼らの発言や動向を伝える記事を収集する。一次史料におとらず、新聞・雑誌の記事収集も体力と気力の要る大変な作業である。さらに、『明治天皇』を書いた際は、天皇が自分で書いた手紙・日記・書類等がほとんど残っていないので、元老・宮内大臣・侍従ら、まわりの人物の残した史料から、明治天皇像を構成する苦労があった。それでも、最初はほんやりとしか見えなかった人物像が、しだいにはっきりしてくると、とても充実した気持ちになる。

なお、『明治天皇』でも、一般の読者を対象とした評伝でありながら、近代天皇制の研究を進展させた。明治天皇は専制的な君主ととらえられてきたものを、政治関与を抑制し、原則として調停的にしか関与しない君主で、その意味でイギリスの近代国王と類似していたことを示した。また、明治天皇の政治権力は明治初年から、あるいは征韓論政変（1873年）から、いや1879年からあった等、諸説あったが、1887年（明治20）頃より実際に政治権力を行使できるようになったことを確定した。

史料だけでわからないもの

ところが、評伝を書く上で、重要であるが、いくら史料を集めてもわからないことがある。それは、主人公がどの年齢の時に最も充実した人生を送っていると感じていたのか、いつ頃から自分の人生は盛りを過ぎ



韓国に向かう伊藤博文（1907年9月、軍艦「笠置」にて）（古谷久綱『藤公餘影』民友社、1910年、より）

たと思ひ始めたのか、またある特定の時期に主人公がどのような希望や目標を持ち、どの程度実現するだろうという期待を抱いていたか、等のことである。

たとえば、原敬は膨大な日記をつけたが、あの日記は政治の覚えのために書いたもので、山県有朋が原に何を話し、原が山県にどのように答えたか、といった記述が中心である。このため、日記に書いてあることは、山県や原の本心でないことも多い。ましてや原自身が、自分の人生の盛りはいつだった、等のことを日記に書くことはない。このため、原の評伝を書く者は、史料を検討した上で、それらのことを推定しなくてはならない。

そうすると、64歳で暗殺された原

の、晩年の気持ちや、体力の衰への自覚などを、たとえば30歳代の著者に十分に書き込むことができるか、という問題になる。

このようなことは、日常、年上の人の話を聞いたり、回想録を読んだりして、年長者の生きざまを考えることを通して、それなりに克服できるようにも思われる。しかし、本当に克服できているのか、確信が持てない部分も残る。長生きした大物政治家の評伝を書くには、執筆者もそれなりの年齢になってみないと、やはり十分には書けないのではないか。しかし、大物政治家の残した膨大な史料と格闘するには、若さと体力も必要だ。この兼ね合いが難しい。

これまでに書いた五冊の評伝の中で活動する何十人もの人生を追体験してきた私は、主役を含め映画や舞台をいくつもこなした俳優に近い気分を味わっている。その上、評伝の主人公たちの考え方、生き方から、私自身が教えられ、励まされることも少なくない。これだから評伝を書くのは止められない。体力と気力の続く限り、史料を十分に読み込んで、人物と時代を丁寧に描くように心がけながら、評伝を書き続けたい。

（表紙写真） 京都御所

（著書） 伊藤之雄『明治天皇』ミネルヴァ書房、定価2,940円、伊藤之雄『伊藤博文をめぐる日韓関係』定価2,940円

新刊ニュース

9・10月発行図書 *発売は予定のものもあります

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

骨考古学と蝦夷・隼人

市民の考古学12

瀧川 涉編

四六判 192頁 予価1,890円

同成社[10月刊]

東北と南九州から出土した人骨を分析し、史料では見過ごされがちな蝦夷と隼人の生活の様相を追究しつつ、古代の両地域を比較する。

978-4-88621-615-1

讃岐国分寺の考古学的研究

渡部明夫著

B 5 判 256頁 予価10,500円

同成社[10月刊]

古代讃岐の中心、四国霊場札所である国分寺。発掘調査では未解明の瓦編年や年代比定等を再検討し、創建経緯や造営の諸問題に迫る。

978-4-88621-613-7

日本史

概論・通史/史料/古代/中世/近世/近代/現代/地方史

承久の乱と後鳥羽院

敗者の日本史6

関 幸彦著

四六判 300頁 2,730円

吉川弘文館[9月刊]

「道ある世」をめざした治天の君=後鳥羽院は、なぜ敗れたのか? 協調から武闘路線への道をたどり、隠岐に配流されたその後も迫る。

978-4-642-06452-1

東国の戦国争乱と織豊権力

動乱の東国史7

池 享著

四六判 322頁 2,940円

吉川弘文館[9月刊]

小田原を拠点に、北条氏はいかにして「地域国家」を築いたのか。領国形成から小田原落城まで、東国にとっての「天下統一」を問う。

978-4-642-06446-0

日記に読む近代日本 1

幕末・明治前期

井上 勲編

四六判 288頁 3,045円

吉川弘文館[10月刊]

徳川の世から明治へ。急激な変革を遂げた時代。勝海舟、坂本龍馬、木戸孝允、大久保利通らの日記から、彼らの行動と思想の根源を探る。

978-4-642-06424-8

蒙古合戦と鎌倉幕府の滅亡

動乱の東国史3

湯浅治久著

四六判 292頁 2,940円

吉川弘文館[10月刊]

蒙古襲来をしのぎ、幕府権力を掌中におさめた北条氏。その栄光と挫折を、発展と荒廃の狭間にあった変わりゆく東国社会から読み解く。

978-4-642-06442-2

箱館戦争と榎本武揚

敗者の日本史17

樋口雄彦著

四六判 288頁 2,730円

吉川弘文館[10月刊]

新政府軍と戦い敗れた旧幕臣たちは、「明治」をいかに生き抜いたのか。日本の近代化に多大な役割を果たした「敗者」たちの後日譚。

978-4-642-06463-7

日本史と環境

人と自然 環境の日本史1

平川 南編

A 5 判 276頁 4,515円

吉川弘文館[10月刊]

なぜ、いま「環境の日本史」なのか。気候や地形の変動を復元し、動植物と人が歩んだ歴史を解明。新たな自然観・環境観を導きます。

978-4-642-01723-7

日本の宮家と女性宮家

所 功編著

四六判 352頁 2,300円 新人物往来社(9月刊)

皇位継承のあり方に密接に関わる、簡単に結論は出そうにない女性宮家問題について、基本的な知識と情報をわかりやすく解説する一冊。 978-4-4040-4251-4

日本全国波瀾万城

柘田道也著

A 5判 216頁 1,000円 新人物往来社(10月刊)

もしも、日本全国のお城が人間だったらどんなキャラ? 城郭ファンのツボをつく絶妙なキャラ設定に爆笑必至! 城マニア必読の「ご当地お城擬人化」コミックエッセイ。 978-4-4040-4257-6

小野妹子(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

海をわたった古代の外交官

山岸良二監修/西本鶏介・文/宮本えつよし・絵

A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(10月刊)

小野妹子とはどのような人物だったのだろうか。人物のエピソードをイラストとともに紹介する伝記物語と、人物やその時代への理解を深める資料とで、歴史が楽しく学べる絵本。 978-4-623-06412-0

古事記なるほど謎解き100話

瀧音能之編

四六判 212頁 予価1,890円 東京堂出版(10月刊)

『古事記』の基本から、掲載される神や天皇の来歴、神話や伝承、女性や英雄、ゆかりの神社や遺跡など100のテーマから『古事記』の内容にせまる。 978-4-490-20804-7

鑑真(ミネルヴァ日本歴史人物伝)

嵐の海をこえてきた盲目の仏教僧

山岸良二監修/西本鶏介・文/ひだかのり子・絵

A B判 32頁 2,625円 ミネルヴァ書房(10月刊)

たび重なる困難にも屈せず、唐の国から日本に仏教を伝えた鑑真の生涯を、美しい切り絵で物語る。ルビ付きで資料編も充実の調べ学習に最適のシリーズ。 978-4-623-06413-7

正倉院文書と古代中世史料の研究

皆川完一著

A 5判 692頁 21,000円 吉川弘文館(10月刊)

学界に多大な貢献をなした著者の足跡を集成。正倉院文書を中心とする古代中世の諸史料に関する研究など、主要な業績を取める。 978-4-642-02500-3

日本古代の国家と給与制

山下信一郎著

A 5判 336頁 10,500円 吉川弘文館(10月刊)

律令国家がその支配層である皇族・貴族、官人に支給したさまざまな給与制の特質と変遷を考察。政治的な分析から給与制の意義を描く。 978-4-642-04601-5

古代・中世の芸能と買売春

遊行女婦から傾城へ

服藤早苗著

四六判 304頁 2,625円 明石書店(9月刊)

網野善彦らの「聖なる遊女」論について史料を再検討し批判的に継承。古代～中世にかけて買売春がどのように始まり広がったかを男女の性秩序を視野に入れ考察。 978-4-7503-3666-4

御堂関白記全註釈(第一期復刻・全8冊)

山中 裕編

各A 5判 平均252頁 揃59,325円 思文閣出版(9月刊)

第1期(国書刊行会・高科書店)の全8冊を復刊。「寛弘6年」については、編者のもとで註釈部分の再検討を行い、大幅な改訂を加えて改訂版として刊行。

平安時代の箏曲—復元の試み

宮崎まゆみ著

B 5判 160頁 6,300円 同成社(9月刊)

現存最古の箏曲の楽譜である藤原師長(1138～92)著『仁智要録』を対象に解説を試み、昔日の箏曲を復元し五線譜訳を付した。 978-4-88621-614-4

源義家—天下第一の武勇の士—

日本史リブレット人22

野口 実著

A 5変型判 96頁 840円 山川出版社(9月刊)

「八幡太郎」の愛称で語り継がれ、「文武兼備の稀代の名将」と「残虐を事とした暴力装置」という対極的な評価の間で揺れ動く義家の実像に迫る。 978-4-634-54822-0

蓮如一乱世の民衆とともに歩んだ宗教者—

日本史リブレット人41

神田千里著

A 5 変型判 96頁 840円 山川出版社〔9月刊〕

本願寺教団の発展に尽力した真宗の宗教家蓮如。戦国乱世の社会や民衆と切り離すことのできない、蓮如の生涯と伝道の実像に迫る。

978—4—634—54841—1

近世の政治思想論

若尾政希著

四六判 376頁 3,990円 校倉書房〔10月刊〕

安藤昌益の学問形成、思想形成は『太平記評判秘伝理尽鈔』から得た儒学・仏教・神道・歴史・文学の知識による。そのような書物の影響などを論じた。978—4—7517—4410—9

江戸町触集成 第22巻 補遺編(下)

近世史料研究会編

A 5 判 410頁 15,750円 塙書房〔9月刊〕

町触類を集大成。補遺編は、「撰要永久録 公用留」「類聚撰要統」等七つの史料から町触類を採用して刊行。巻末に補遺編索引を収載。

978—4—8273—1252—2

「陰徳の豪商」の救貧思想

江戸時代のフィランソロビー

大塩まゆみ著

四六判 228頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

「陰徳」の思想の下、江戸時代の豪商たちが困窮者を救済し続けた事実を史料から発掘、彼らの「陰徳善行」がいかに醸成され、実践されたのかを探る。今、改めてその精神を探ることから、現代社会のあり方を根底から見直す。978—4—623—06406—9

近世朝廷の法制と秩序

田中暁龍著

A 5 判 240頁〔予〕 予価5,250円 山川出版社〔10月刊〕

幕藩体制のもとで一定の機能を果たした朝廷が、いかにしてその秩序を維持する装置としての法則をそなえたか、その実像を解明する。

978—4—634—52015—8

環境先進国・江戸

読みなおす日本史

鬼頭 宏著

四六判 218頁 2,205円 吉川弘文館〔9月刊〕

限られた資源を有効活用し、環境にやさしい社会を実現させた江戸時代。リサイクルなど、現在にも通じる地球との共存を探った名著。

978—4—642—06386—9

明治維新

日本近世の歴史 6

青山忠正著

四六判 304頁 2,940円 吉川弘文館〔10月刊〕

ペリー来航から西南戦争まで、政治の動きを中心に叙述。さまざまな立場に立つ勢力が近代国家樹立のため争った様相を、新視点で描く。978—4—642—06434—7

「朝敵」たちの幕末維新

新人物往来社編

A 5 判 320頁 2,000円 新人物往来社〔9月刊〕

北海道から佐賀県まで、全国18の都道府県を舞台に、「朝敵」藩や「賊軍」の汚名を着せられた佐幕派の人物を再評価。幕末のヒーローは、薩長の志士だけではない。歴史の影に葬られてきた、数多くの英雄達の姿を描く。978—4—4040—4248—4

会津に恋して

小日向えり著

A 5 判 192頁 予価1,400円 新人物往来社〔10月刊〕

歴ドル・小日向えりが、幕末の会津に生きた新島八重と会津の人々、そして幕末会津藩ゆかりの人々を独自の目線で紹介。来年の大河ドラマに出てくる人達のことを、この一冊でよくわかる。978—4—4040—4262—0

塚本明毅

今や時は過ぎ、報国はただ文にあり

塚本 学著

四六判 300頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

旧幕府海軍軍人として活躍するも、明治維新後は静岡藩の沼津兵学校の頭取を勤め、また太陽暦への変更や、詳細な地誌編纂を指揮するなど異彩ぶりを発揮した塚本明毅。その知られざる足跡と人物像を初めて明らかにする。978—4—623—06409—0

現代歴史学と軍事史研究

吉田 裕著

A 5 判 376頁 8,400円 校倉書房〔10月刊〕

軍部の政治史的分析だけでなく、軍隊の存立基盤を社会史・民衆史の視角から、つぎに戦場の実態も対象に、さらに戦争責任や戦争犯罪の解明にも取り組む。

978—4—7517—4420—8

移住型植民地樺太の形成

三木理史著

A 5判 432頁 9,975円

塙書房〔10月刊〕

日本植民地の研究史を学際的に検討し、樺太と内地との関係、樺太内の産業開発を考察、移住型植民地という地域性から日本植民地研究を逆照射する。 978-4-8273-1255-3

佐治敬三

夢、大きく膨らませてみなはれ

小玉 武著

四六判 460頁 2,940円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

創業者の二代目として、寿屋(現・サントリー)を継承。日本ではなじみの薄かった洋酒の普及に努め、新しい生活文化を作り出した。また、鮮やかな文化事業戦略により、「サントリー」文化を花開かせた経営者の姿に迫る。 978-4-623-06443-4

昭和後期の家族問題

1945-88年、混乱・新生・動揺の中で

湯沢雅彦著

四六判 384頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

市井の人の言葉や文章を細やかに拾いながら、当時の人びとの暮らしぶりや悩みの背景を再現させた『大正期の家族問題』『昭和前期の家族問題』に続く、待望の完結編。

978-4-623-06289-8

沖縄 占領下を生き抜く

軍用地・通貨・毒ガス 歴史文化ライブラリー354

川平成雄著

四六判 238頁 1,785円 吉川弘文館〔9月刊〕

強制的土地接収による基地建設、通貨交換、毒ガス貯蔵発覚と住民の「見えぬ恐怖」との闘い…。占領下を必死に生き抜いた人々を描く。 978-4-642-05754-7

地名が解き明かす古代日本

錯覚された北海道・東北

合田洋一著

四六判 288頁 2,940円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

多元史観(古田武彦)を視座として、地名の謎を徹底的に調査することで、古代日本の新たな姿を提示する。

978-4-623-06483-0

世界史

概論・通史/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/オセアニア

ヨーロッパの古城と宮殿

藤井信行著

A 5判 144頁 2,000円 新人物往来社〔9月刊〕

ビジュアル選書シリーズ。宮殿のように華やかな城や、山上に立つ無骨な城など、それぞれの城が持つエピソードや城主の肖像画などとともに、オールカラーの美しい写真で紹介。 978-4-404-4247-7

中華帝国四〇〇〇年史(仮)

渡邊義浩著

B 5判 144頁 予価2,000円 新人物往来社〔10月刊〕

ビジュアル選書シリーズ。日本で圧倒的な人気を誇る三国時代、楊貴妃で知られる唐、ユーラシアを制覇したモンゴル帝国と元から最後の中華帝国・清まで、中国四千年の歴史をオールカラーの美しい写真や絵画とともにビジュアルで紹介する一冊。 978-4-404-4261-3

上海大衆の誕生と変貌

近代新中間層の消費・動員・イベント

岩間一弘著

A 5判 488頁 7,770円 東京大学出版会〔9月刊〕

ひとと情報が行きかう都市で繰り広げられた、集団結婚式やミスコンなどをとおして、メディアと大衆が影響を及ぼしあう、都市大衆社会のダイナミズムを描き出す。 978-4-13-026142-5

中国経済史入門

久保 亨編

A 5判 352頁 3,990円 東京大学出版会〔9月刊〕

中国経済史の最新の研究動向と課題を、第一線の研究者がテーマごとに紹介する。現在の中国経済史研究の到達点と今後の展開を示した最良の研究案内。 978-4-13-022025-5

記念碑に刻まれたドイツ

戦争・革命・統一

松本 彰著

A 5判 368頁 6,720円 東京大学出版会〔10月刊〕

革命の長い19世紀から、二度の世界大戦の20世紀、そして現代まで、人々の記憶や政治を象徴する記念碑を丹念に分析し、ドイツの近現代史を再検討する。 978-4-13-021075-1

フィリピン近現代史のなかの日本人

植民地社会の形成と移民・商品
早瀬晋三著

A 5判 312頁 6,300円 東京大学出版会〔10月刊〕

今までほとんど意識されてこなかった日本とフィリピンの関係の諸相を、日本人移民と商品がフィリピン社会に与えた影響から考察。グローバル化・多文化共生社会へむけて、新たな国際関係史を提示。 978-4-13-026142-5

ムハンマド時代のアラブ社会

世界史リブレット100
後藤 明著

A 5変型判 96頁 765円 山川出版社〔9月刊〕

ムハンマドが生きた時代のアラブ社会とはどのような社会だったのか。メッカやメディナなどを事例として、聖典『コーラン』や伝承から解説する。 978-4-634-34938-4

楔形文字とその解読

ブリジット・リオン、セシル・ミシェル編

A 4判 48頁 1,890円 山川出版社〔10月刊〕

前4千年期末から3000年以上にわたって中近東で用いられてきた楔形文字。学者たちが試みた解読の歴史を紹介する。 978-4-634-64058-0

赤松氏五代

弓矢取って無双の勇士あり
渡邊大門著

四六判 380頁 3,675円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

赤松氏中興の祖・円心、南北朝動乱に直面した則祐、三カ国守護となった義則、嘉吉の乱を起した満祐、赤松家を再興した正則。南北朝、室町、戦国という激動する世にあって、波乱に富んだ赤松氏五代を描く。 978-4-623-06475-5

ドイツの歴史百話

坂井榮八郎著

四六判 330頁 3,150円 刀水書房〔10月刊〕

日本とドイツを行き来しつつ半世紀を歩んだ歴史家が語る、ドイツの文化、歴史。古代ローマ帝国期から東西ドイツ統一後の現代まで百のエッセイが時代順に綴られる。 978-4-88708-407-0

自由の条件とは何か 1989~1990

ベルリンの壁崩壊からドイツ再統一へ
カール・フォン・ヴァイツゼッカー著／小杉勉次・新垣誠正訳
四六判 288頁 4,200円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

ベルリンの壁崩壊から、東西ドイツ再統一。この現代ドイツ・ヨーロッパ史最大の激動期に、知の巨人ヴァイツゼッカーは何を見たのか。分断祖国ドイツの厳しい現実と向き合い、20世紀ヨーロッパ最後期の本質を鋭く分析した時代証言集。 978-4-623-06399-4

ドイツ帝国の成立と東アジア

遅れてきたプロイセンによる「開国」
鈴木楠緒子著

A 5判 296頁 6,300円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

ドイツ国民国家の形成過程を、「イースタン・インパクト」に注目し、19世紀半ばのドイツと「開国」期における東アジアとの関係史を手がかりに再考する。 978-4-623-06393-2

身分社会と市民社会

一九世紀ハンガリー社会史
ケヴェール・ジェルジ著／平田武訳

A 5判 350頁 4,830円 刀水書房〔10月刊〕

ハンガリー社会史学界を代表する著者による、ブダペシュト大学のハンガリー近現代社会史講義。19世紀ハンガリー対象の社会科学の歴史学研究成果が総覧できる。 978-4-88708-408-7

東欧地域研究の現在

柴 宣弘、木村 真、奥 彩子編

A 5判 380頁 3,780円 山川出版社〔9月刊〕

かつてハプスブルク帝国とオスマン帝国の支配下にあった「東欧」という歴史的地域の、冷戦終結後の「今」を、さまざまな視点から考える。 978-4-634-67226-0

鉄道 (近代ヨーロッパの探究14)

湯沢威・小池滋・田中俊宏・松永和生・小野清之著

A 5判 378頁 5,250円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

鉄道の誕生からさかのぼり、さらに小説や絵画の描写なども踏まえ、鉄道=近代文明のもつ光と影をよみとく。 978-4-623-05260-8

福祉 (近代ヨーロッパの探究15)

高田実・中野智世編著

A 5判 416頁 5,250円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

イギリス、フランス、ドイツ、スウェーデン、イタリア、ロシアを対象に、長期的視点から「福祉の複合体」の歴史的ダイナミズムを描出。 978-4-623-06375-8

近代イタリアの歴史

16世紀から現代まで

北村暁夫・伊藤武編著

A 5判 284頁 3,360円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

16世紀から現代にいたるイタリアの歴史を、通史とともに、それぞれの時代に関する理解を深めるための最適なテーマを切り口に概観する。最近の研究動向も反映し、近現代イタリアをコンパクトに理解できる待望の書。 978-4-623-06377-2

ユーラシア世界 4

公共圏と親密圏

塩川伸明・小松久男・沼野充義・松井康浩編

A 5判 272頁 4,725円 東京大学出版会〔9月刊〕

ヨーロッパ近代を念頭に構築された公共圏／親密圏の概念を手がかりに、正教、イスラームをはじめとするそれぞれの文明圏のなかの生活世界へとアプローチし、新たな地域理解へと導く。 978-4-13-034284-1

ユーラシア世界 5

国家と国際関係

塩川伸明・小松久男・沼野充義編

A 5判 280頁 4,725円 東京大学出版会〔9月刊〕

近代西欧の国家体制とは異なる編成原理をもつ複数の大帝國をかつて抱え、その後欧米主導の国際秩序に対する最大の挑戦者ソ連が生まれ、解体していったこの地域の今後を分析する。 978-4-13-034285-8

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教
教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

古事記はいかに読まれてきたか

〈神話〉の変貌

斎藤英喜著

四六判 248頁 2,520円 吉川弘文館〔10月刊〕

江戸時代の本居宣長から吉田兼俱・多人長まで。1300年の時空を超え、新たな神話へと変貌するダイナミックな歴史を読み解く。

978-4-642-08081-1

近代日本の倫理思想

主従道徳と国家

高橋文博著

A 5判 332頁 5,500円 思文閣出版〔9月刊〕

近代日本における倫理思想をめぐる論文集。西村茂樹・福沢諭吉・阿部次郎・安倍能成・和辻哲郎の終身教科書についての論考を集成。 978-4-7842-1656-7

増補 敦煌佛教の研究

上山大峻著

A 5判 740頁 21,000円 法蔵館〔9月刊〕

敦煌写本の検討から、チベット支配下の同地に展開した特異な仏教教学を解明。未伝の学僧・曇曠と法成の研究、チベット宗論の研究などを収録し、さらに二三論文を増補。

978-4-8318-7361-8

修験道

その伝播と定着

宮家 準著

A 5判 352頁 3,465円 法蔵館〔9月刊〕

山岳信仰と修験道の概要をわかりやすく説明。そのうえで、吉野・熊野・伊勢・羽黒・彦山・白山・本山派・児島流の山伏や比丘尼の唱導、勧進活動を通して、各地の霊山、地方への修験の伝播と定着を解明した初めての書。 978-4-8318-7439-9

近代日本思想としての仏教史学

オリオン・クラウタウ著

A 5判 340頁 6,090円 法蔵館〔9月刊〕

明治期から戦前まで、「仏教学」の形成過程とその担い手達に焦点をあて、「日本仏教」がどのようにして誕生したのかを明かす意欲的論考。 978-4-8318-7364-4

OD版 西大寺叡尊傳記集成

奈良国立文化財研究所監修

A 5判 492頁 16,800円 法蔵館〔9月刊〕

南都西大寺中興の祖、興正菩薩叡尊は鎌倉時代における律学復興の中心人物であり、文化史上著しい業績を伝える。伝記や事蹟の資料、同研究所の総合調査の新資料も収録。付解題・図版44頁。 978-4-8618-6527-4

鶴林寺 信仰の諸相

鶴林寺叢書 4

刀田山鶴林寺著

B 6変型判 72頁 1,575円 法蔵館〔10月刊〕

シリーズ完結巻。根立研介「観音堂と常行堂などの諸堂ゆかりの彫刻」、上島享「鶴林寺の禁制よりみた中世の制札の特徴」、山岸常人「鶴林寺の諸堂宇」、内藤栄、安嶋紀昭、金子哲ほか。 978-4-8318-2215-4

長楽寺蔵七条道場金光寺文書の研究

村井康彦・大山喬平編

A 5判 550頁 16,800円

法蔵館〔10月刊〕

七条道場金光寺は火葬場として長く洛中の葬送に携わってきたが、その実態は長らく不明であった…。本書では、長楽寺所蔵文書を中心に関連する文書を一挙翻刻、金光寺の消長を徹底解明する！ 978—4—8318—7675—1

大系真宗史料 伝記編 9

近世門徒伝

真宗史料刊行会編 平田 徳著

A 5判 448頁 9,450円

法蔵館〔10月刊〕

現在では教学的・書誌学的にほとんど注目されることのない、17世紀末から19世紀にかけて編纂された門徒・僧侶の膨大な伝記群。その中から精選したものを収載し、当時の信仰を探る。 978—4—8318—5059—1

読み継がれる史記

司馬遷の伝記文学

谷口 匡著

B 6判 208頁 2,310円

鳩書房〔9月刊〕

伝記文学としての『史記』の文学性や主題、中国・日本文学への影響、言葉や表現のおもしろさ、史記研究の歴史をたどり、読み継がれる魅力に迫る。 978—4—8273—3113—4

正倉院宝物に学ぶ 2

奈良国立博物館編

四六判 304頁 2,625円

思文閣出版〔10月刊〕

2008年～10年の正倉院学術シンポジウムの内容をまとめる。「正倉院研究の現在」「皇室と正倉院宝物」「正倉院宝物はどこで作られたか」の3テーマ。 978—4—7842—1658—1

夢二 異国への旅

袖井林二郎著

四六判 330頁 3,150円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

夢二は、欧米外遊中、どのような苦悩や葛藤を抱えながら、その画業を成し遂げてきたのか。数々の資料と独自調査から描き出す。 978—4—623—06312—3

日本人の姓・苗字・名前

人名に刻まれた歴史 歴史文化ライブラリー353

大藤 修著

四六判 266頁 1,890円

吉川弘文館〔9月刊〕

「姓」と「苗字」のルーツはどこにあるのか？人名が持つ意味や役割を古代から現代までたどり、「日本」「日本人」とは何かを考える。

978—4—642—05753—0

金属が語る日本史

銭貨・日本刀・鉄炮 歴史文化ライブラリー355

齋藤 努著

四六判 224頁 1,785円

吉川弘文館〔10月刊〕

古代より鉄炮・刀剣など「ものづくり」をしてきた日本人。和同開珎の銅含有量や偽金との関係、金属の成分分析から様々な史実を解明。 978—4—642—05755—4

モダン東京の歴史社会学

「丸の内」をめぐる想像力と社会空間の変容

松橋達矢著

A 5判 328頁 3,990円 ミネルヴァ書房〔10月刊〕

現在にも引き継がれる「モダン東京」の現在とその歴史の意味について、丸の内地区を中心とした「都心」という場所の社会的意味の変容から考察する。 978—4—623—06372—7

料理の起源

読みなおす日本史

中尾佐助著

四六判 232頁 2,205円

吉川弘文館〔10月刊〕

全世界の家庭で日常行なわれている食糧の加工・料理に、初めて学問的なメスを入れる。日本の食文化の“深層”に迫った名著！

978—4—642—06387—6

家庭料理の近代

歴史文化ライブラリー356

江原絢子著

四六判 224頁 1,785円

吉川弘文館〔10月刊〕

幕末以降から移り変わる「食」を紐解く。肉類などの食材を和風に応用した独自の料理と技術が広まる様子から「食の文明開化」を描く。 978—4—642—05756—1

増補 陰陽道の神々

斎藤英喜著

四六判 316頁 2,415円

思文閣出版〔9月刊〕

陰陽道の神々の来歴と素顔を、もう一つの「日本」の神々の世界として探求。増補版として、コロンビア大学で発表の「いざなぎ流」に関する論考を収録。 978—4—7842—1644—4

伝承された縄紋技術

木の実・樹皮・木製品

名久井文明著

A 5判 240頁 5,775円

吉川弘文館〔10月刊〕

木の実のあく抜きや樹皮利用など、縄紋時代から継承されてきた文化がある。さまざまな技術の存在を「民俗考古学」の手法で解明する。 978-4-642-08194-8

性愛空間の文化史

「連れ込み宿」から「ラブホ」まで

金 益見著

四六判 252頁 2,100円 ミネルヴァ書房〔9月刊〕

日本にはラブホテルと呼ばれる施設があるが、カップルが利用する貸間には様々な名称が付けられてきた。本書では、貸間空間の変遷をもとに、外観や経営者の変化を取り上げ、その名称が人々の性意識を反映していたことを解明する。 978-4-623-06410-6

伝 記

松平定信

人物叢書270

高澤憲治著

四六判 336頁 2,205円

吉川弘文館〔9月刊〕

江戸後期の老中。政・官・学、あらゆる分野で試みられた江戸の改革プロジェクトを追跡し、文化人として評価された稀代の生涯を辿る。 978-4-642-05263-4

渋沢栄一を知る事典

渋沢栄一記念財団編

四六判 320頁 予価2,940円 東京堂出版〔10月刊〕

近代以降の日本社会の基礎を築いた渋沢栄一。現代の社会・経済を考える上でも重要な、その人物像と業績の全貌をコンパクトにまとめた事典。 978-4-490-10824-8

フィデル・カストロ自伝 勝利のための戦略

キューバ革命の闘い

フィデル・カストロ著 山岡加奈子他訳

四六判 632頁 4,800円

明石書店〔9月刊〕

革命軍が政府軍をシエラ・マエストラから一掃したラス・メルセデスの戦いまでの経過を、当時の資料をもとに詳述。貴重な写真、戦略地図多数。 978-4-7503-3668-8

雑 誌

日本歴史

10月号（第773）＝9月刊

11月号（第774）＝10月刊

日本歴史学会編集

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料8,300円〔送料込〕

◆各種割引制度有

二年間前払い16,000円〔送料込〕

三年間前払い23,500円〔送料込〕

学生・院生 一年間5,000円〔送料込〕

A 5判 146頁 各780円 吉川弘文館〔9・10月刊〕

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴史書以外の――

人文社会図書新刊案内

2012. 9・10

――明石書店――

現代エジプトを知るための60章 鈴木恵美編著	……四六判	2,100円	8月
イスラエルを知るための60章 立山良司編著	……四六判	2,100円	8月
中国のムスリムを知るための60章 中国ムスリム研究会編	……四六判	2,100円	8月
カーストから現代インドを知るための30章 金基淑編著	……四六判	2,100円	8月
現代ロシアを知るための60章【第2版】 下斗米伸夫、島田博編著	……四六判	2,100円	9月

――思文閣出版――

源氏物語 遊興の世界 逸翁美術館・池田文庫編	……A 4判	1,050円	9月
------------------------	--------	--------	----

――東京大学出版会――

家族を生きる 違いを乗り越えるコミュニケーション 平木典子・柏木恵子著	……四六判	1,890円	9月
中国問題 キーワードで読み解く 毛里和子・園田茂人編	……四六判	3,150円	9月
国際政治の数理・計量分析入門 松原望・飯田敬輔編	……A 5判	3,150円	9月
経済政策史の方法 緊縮財政の系譜 三和良一著	……A 5判	7,560円	9月
ロマン主義の経済思想 芸術・倫理・歴史 塩野谷祐一著	……A 5判	5,880円	10月
メタ分析入門 心理・教育研究の系統的レビューのために 山田剛史・井上俊哉編	……A 5判	3,360円	10月
新たなリスクと社会保障 生涯を通じた支援策の構築 井堀利宏・金子能宏・野口晴子編	……A 5判	4,410円	10月

――法蔵館――

絵ものがたり正信偈 文：浅野執持 絵：市角壮玄	……A 5判	1,365円	9月
真宗聖典学② 七高僧撰述 信楽峻磨著	……四六判	2,940円	9月
妙好人めぐりの旅 伊藤智誠著	……四六判	1,890円	10月

――ミネルヴァ書房――

共生する生き物たち 岩槻那男・仁王以智夫著	……四六判	2,625円	9月
西田哲学と田辺哲学の対決 嶺秀樹著	……四六判	4,200円	9月
「東京」に出る若者たち 石黒格・李永俊・杉浦裕晃・山口恵子著	……四六判	3,150円	9月
ホーソーンと孤児の時代 成田雅彦著	……A 5判	5,250円	9月
近代日本の翻訳文化と日本語 齊藤美野著	……A 5判	6,300円	9月
アメリカのコミュニティ開発 矢作弘・明石芳彦編著	……A 5判	3,675円	10月
世界経済危機における日系企業 山崎勇治・嶋田 巧編著	……A 5判	5,775円	10月
産業集積の変貌と地域政策 伊東維年・柳井雅也編著	……A 5判	3,360円	10月
韓国の都市下層と労働者 横田伸子著	……A 5判	6,300円	10月

『願いをかなえる神様』（みたい！しりたい！しらべたい！日本の神さま絵図鑑 1）

松尾恒一監修／小松和彦・序文 …………… A B判 2,940円 10月

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

歴懇ニュース

10月に入り、さすがに長い夏も終わりを告げたようです。いよいよ読書の秋です。

●恒例の秋の復刊書フェア「歴懇リバイバル」

毎年秋には恒例の復刊書フェア「歴懇リバイバル」を、全国の書店さんをお願いして開催しています。今年は少し遅れて始まりました。第20回目です。本誌15～18頁に各社復刊の書目一覧を、そして19～20頁には（10月15日現在）フェア開催書店さんのお名前を載せています。どうぞお立ち寄り頂き、お手に取って頂けますようお願い致します。

●月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ30冊」の連続ミニフェアを下記の5書店で開催中です（かっこの数字はフェア開始の日付）。

- ◇天童市TENDO八文字屋(2006年7月)／◇新潟市紀伊國屋書店新潟店(2007年8月)
- ◇松江市今井書店グループセンター店(2008年6月)／◇さいたま市ブックデポ書楽(2009年9月)／◇新宿区芳林堂書店高田馬場店(2010年4月)

今年でリバイバルフェアも20回目となりました。

20周年と言えば、2000年12月8日、ジョン・レノン没後20年を記念して、キューバ共和国の首都ハバナの公園にレノンの銅像が作られました。

・・・Imagine all the people / Living life in peace...
You may say I'm a dreamer / But I'm not the only one
I hope someday you'll join us / And the world will be as one・・・
（「イマジン」より）

その除幕式でカストロが挨拶します。

「私は、やっとビートルズを理解し始めた。この「イマジン」の中で、レノンは「私は理想主義者だけれど、一人ではない」と言っている。私も理想を求めて生きてきた一人なのだ」と。革命を成功させたカストロが、ジョン・レノンを語る様子を最近テレビで見て、はるか50年前の少女時代を思い出しました。

ちょうど10月でした。1962年10月22日（月）、テレビでアメリカ大統領ケネディが「ソ連の核ミサイルがキューバに持ち込まれている。これを阻止するために海上封鎖を行う」と発表。その1週間前10月14日、U2型偵察機の航空写真で、ソ連によるキューバのミサイル基地建設が確認されたのです。これが「キューバ危機」です。第三次世界大戦＝核戦争になれば世界は終わる。私は、未だ人生が始まったばかりで死ぬんだ……。そう思いました。家族で10月27日（土）の夜に「最後の晩餐」を囲んだ記憶があります。けれど翌28日、危機は回避されました。

ビートルズはこのキューバ危機の少し前、1962年10月5日にメジャーデビューしました。今年は、記念すべきビートルズ誕生50周年です。

歴懇リバイバル2012

秋の共同復刊企画

- *名著・貴重書・基本図書を復刊！
- *日本史を中心に宗教史、文学、伝記など幅広いラインナップ！
- *いずれも少部数の復刊です。お早めにご注文下さい！
- *復刊書目は2012年10月1日現在 8社26点。

主催：歴史書懇話会

発売：2012年10月上旬

校倉書房	03-3203-4851	同成社	03-3239-1467
東京大学出版会	03-3811-8814	塙書房	03-3812-5821
東京堂出版	03-3233-3741	法藏館	075-343-5656
刀水書房	03-3261-6190	吉川弘文館	03-3813-9151

※著者名につづく() は初版年、出版社名につづく〔 〕 は分類を示します。
 ※価格は予定価格です。

織豊期王権論

堀新著 (2011)

A 5 判 364頁 10,500円

校倉書房〔日本史〕

織田・豊臣権力と天皇・朝廷との関係は、対立・緊張であったのか、それとも従属または協調であったのか、信長の国家構想や官位制度への対応を論考。 978-4-7517-4290-7

公共圏の歴史的創造

一江湖の思想へー

東島 誠著 (2000)

A 5 判 352頁 7,770円

東京大学出版会〔日本史〕

「日本」史を素材として、パブリックなものとオフィシャルなものとのせめぎあう関係、《公共圏》存立のあり方を追究。新たな社会関係の可能性の模索と歴史的創造を問う。 978-4-13-026602-4

豊臣平和令と戦国社会

藤本久志著 (1985)

A 5 判 300頁 5,880円

東京大学出版会〔日本史〕

「豊臣平和令（惣無事令・喧嘩禁止令・刀狩令・海賊禁止令）の発見を通じて、中世から近世への移行期の歴史像を豊かな史実によって再構成。 978-4-13-020073-8

古文書古記録語辞典

阿部猛編著 (2005)

A 5 判 566頁 12,600円

東京堂出版〔日本史〕

古代・中世の古文書・古記録に表われる重要な言葉約9500について、意味を解説し、その後の変化にも言及。古文書・古記録を読むための座右の書。 978-4-490-10675-6

マクドナルド「日本回想記」

一インディアンの見た幕末の日本一

W. ルイス、村上直次郎編／富田虎男訳訂 (1979)

四六判 310頁 2,310円

刀水書房〔日本史〕

日本をインディアンの母国と信じて密航した青年の日本観察記。幕末最初の英語教師として評価されて、高校英語教科書にも採用された。 978-4-88708-005-8

日本の江戸時代一舞台上上がった百姓たち一

田中圭一著 (1999)

四六判 259頁 2,520円

刀水書房〔日本史〕

日本の古い体質のシンボル「江戸時代封建論」に真っ向から挑戦した江戸近代論。「検知は百姓の土地私有の確認である」ことを実証等、日本史全体像の変革を迫る。 978-4-88708-233-5

改訂版 枕詞辞典

阿部萬蔵・阿部猛編 (2010)

A 5 判 362頁 5,985円

同成社〔文化史〕

本書は、近代以後の諸書・論稿等もふんだんに参照し、枕詞1078を収録した名著『枕詞辞典』の22年ぶりの改訂版である。 978-4-88621-538-3

古墳時代政治史序説(オンデマンド版)

川西宏幸著 (1988)

A 5 判 552頁 11,550円

塙書房〔日本史〕

円筒埴輪研究に端を発する著者の古墳時代論。大型古墳編年の結果に基づき、畿内政権を中核とする古墳時代の政治動向について多角的に考察する。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1650-6

正税帳の研究(オンデマンド版)

一律令時代の地方政治一

井上辰雄著 (1967)

A 5 判 516頁 10,500円

塙書房〔日本史〕

天平期正税帳を中心に、当時の地方政治、中央政府と地方国衙との関係等重要な諸問題に政治史的分析を試み、律令時代の地方政治の実情を総合的に把握。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1651-3

京郊庄园村落の研究(オンデマンド版)

上島 有著 (1970)

A 5 判 520頁 10,500円

塙書房〔日本史〕

東寺百合文書の原本に親しむ著者が「旧名の解体」を東寺観山城国上久世庄で跡づけ、南北朝期より戦国末期までの「京郊西岡の地」の歴史を体系的に叙述。【OD版に付注文扱】 978-4-8273-1652-0

近世日本塩業の研究(オンデマンド版)

河手龍海著 (1971)

A 5判 362頁 7,350円

塙書房〔日本史〕

「休浜替持法」その因って来た原因を分析、経過変遷を辿り、日本の歴史全体の中において把え、近世日本塩業の本質・全貌を明らかにした。

【OD版に付注文扱】 978—4—8273—1653—7

日本紡績業史序説 下(オンデマンド版)

高村直助著 (1971)

A 5判 292頁 5,775円

塙書房〔日本史〕

大阪紡績の設立から第一次大戦勃発までの三十数年間にわたる日本紡績史。上下の二冊目。

【OD版に付注文扱】

978—4—8273—1654—4

初期万葉の女王たち(オンデマンド版)

神田秀夫著 (1969)

B 6判 276頁 2,835円

塙書房〔日本史〕

香しい孝徳・斉明朝の三女王、特にその伝説化された鏡女王と額田王を中心に、筆者独自の韻律をもって、古事記・日本書紀・万葉集からその真実を探る。

【OD版に付注文扱】 978—4—8273—4524—7

糞掃衣の研究—その歴史と聖性—

松村薫子著 (2006)

四六判 257頁 2,940円

法蔵館〔日本史〕

僧侶が着ける最上の袈裟(糞掃衣)とは何か。歴史の展開を明らかにし、袈裟の製作団体を実地調査、製作活動や理念、そこに発生する特別性を考察。

978—4—8318—6033—0

西大寺叡尊伝記集成

奈良国立文化財研究所監修 (1977)

A 5判 492頁 16,800円

法蔵館〔日本史〕

南都西大寺中興の祖、興正菩薩叡尊が鎌倉時代における律学復興の中心人物であり、文化史上著しい業績を伝えている。

延喜式

日本歴史叢書(新装版) 8

虎尾俊哉著 (1964)

四六判 276頁 2,940円

吉川弘文館〔日本史〕

古代政治社会研究の基本史料、日本古代文化理解の一大宝庫。初めてその鍵を開き、興味深い条文の紹介を兼ねて平易に解説した古代史研究に必備の書。

978—4—642—06608—2

検証 本能寺の変

歴史文化ライブラリー-232

谷口克広著 (2007)

四六判 282頁 1,890円

吉川弘文館〔日本史〕

明智光秀は単独犯なのか、果たして黒幕が存在したのか。本能寺の変にいたる過程を史料により再現。様々な仮説を検証し、真相に迫る。

978—4—642—05632—8

源氏と坂東武士

歴史文化ライブラリー-234

野口 実著 (2007)

四六判 208頁 1,785円

吉川弘文館〔日本史〕

河内源氏の東国進出と、土着した軍事貴族や受領・郎等の末裔たちとのかかわりをダイナミックに描き、幕府成立の基盤を探り出す。

978—4—642—05634—2

一条天皇 人物叢書(新装版)

倉本一宏著 (2003)

四六判 304頁 1,995円

吉川弘文館〔伝記〕

平安中期の天皇。藤原道長に協調して王権の安定を築き、和歌や笛を嗜み、王朝文化を開花させた。理想的天皇像の原型となった生涯。

978—4—642—05229—0

藤原定家 人物叢書(新装版)

村山修一著 (1962)

四六判 412頁 2,310円

吉川弘文館〔伝記〕

中世歌壇の大御所、二条派歌学の祖、優れた歌論家。古典研究にも功績多い著名な堂上歌学者の伝。

978—4—642—05172—9

細川頼之 人物叢書(新装版)

小川 信著 (1972)

四六判 325頁 2,310円

吉川弘文館〔伝記〕

幼將軍義満を輔佐し、一旦政争に敗れ失脚したが後再び復帰、室町幕府の基礎を固めた名宰相の伝。

978—4—642—05175—0

大内義隆 人物叢書 (新装版)

福尾猛市郎著 (1959)

四六判 224頁 1,890円

吉川弘文館〔伝記〕

文化の愛好と貿易の富力で「山口王国」を築き、逆臣のため非業な末路を遂げた風雅な武将、悲劇の伝。

978-4-642-05173-6

三好長慶 人物叢書 (新装版)

長江正一著 (1968)

四六判 304頁 2,205円

吉川弘文館〔伝記〕

細川氏の被官から実力ナンバーワンへ。下剋上の代表者と誤解される戦国教養人の多彩な生涯を描く。

978-4-642-05154-5

立花宗茂 人物叢書 (新装版)

中野 等著 (2001)

四六判 314頁 2,205円

吉川弘文館〔伝記〕

九州柳川藩立花氏の祖。秀吉に取り立てられ、晩年は徳川將軍家に重用された波乱の生涯を描く。

978-4-642-05220-7

林羅山 人物叢書 (新装版)

堀 勇雄著 (1964)

四六判 496頁 2,415円

吉川弘文館〔伝記〕

江戸幕府文教の中枢ともいべき林家の始祖として著名であり、日本史上稀有の博学者ながら、典型的な御用学者ともいわれる。羅山の生涯を豊富な史料によって詳説し、儒学の本質にも迫る好著。 978-4-642-05185-9

石田梅岩 人物叢書 (新装版)

柴田 実著 (1962)

四六判 176頁 1,575円

吉川弘文館〔伝記〕

江戸時代の社会教化・成人教育に偉大な役割を演じた「心学」の開祖。その生涯と行実を巧みに描く。

978-4-642-05136-1

※表示価格は、すべて5%税込価格です。

古代九州と東アジアI

小田富士雄著

B5判・六四〇頁・一五七五〇円

九州と東アジアを拠点とし、豊富な現地調査と緻密な研究を積み重ねた著者の長年の研究の集大成。

〔続刊〕古代九州と東アジアII (二〇一三・二月刊)

毅然たる孤独 石原完爾の肖像

野村乙二朗著

四六判・三二〇頁・二九四〇円

満州に王道楽土の建国を夢み、最終戦争から永久平和を目指した孤高の軍人の足跡を幼少期から辿る。

入門パブリック・アーケオロジイ

松田・岡村著

A5判・一九二頁・三九九〇円

世界各国で展開されているパブリック・アーケオロジイの概要・目的・手段等を解説する初の入門書。

市民の⑫ 骨考古学と蝦夷・隼人

瀧川涉編

四六判・一九二頁・予価一八九〇円

東北と南九州の出土人骨を分析し、史料では見過ごされがちな情報を拾い上げ、古代の両地域を比較。

古墳時代の考古学 全十巻

第六回配本

⑦ 内外の交流と時代の潮流

一瀬・福永・北條編 B5判・二一六頁・六三〇〇円

【主な内容】総論 古墳時代における環境と地域間の相互作用／1 地域間関係の再編と拡散および拡大／2 中国・朝鮮半島の動向と日本の古墳文化／

3 日本列島の北側と南側からの作用／4 技術・イデオロギー・人的交流と時代の潮流

同成社

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-4-8 (価格は税込み)
TEL03-3239-1467 FAX03-3239-1466 振替00140-0-20618
http://homepage3.nifty.com/douseisha E-mail douseisha@nifty.com



歴懇リバイバル2012 フェア参加店一覧

*は歴史書懇話会特設店 2012年10月15日現在

札幌市	MARUZEN&ジュンク堂 書店札幌店	名古屋市	ジュンク堂書店ロフト 名古屋店
弘前市	紀伊國屋書店弘前店	名古屋市	ジュンク堂書店名古屋店
弘前市	ジュンク堂書店弘前店	名古屋市	丸善名古屋栄店
*仙台市	ジュンク堂書店仙台北店	豊山町	紀伊國屋書店名古屋空港店
仙台市	東北大学生協文系書籍部店	*豊橋市	精文館書店本店
仙台市	紀伊國屋書店仙台店	津市	別所書店修成店
山形市	八文字屋本店	京都市	大垣書店イオンモール KYOTO店
つくば市	丸善筑波大学会館店	京都市	京都大学生協 ブックセンタールネ
前橋市	文真堂ブックマンズ アカデミー前橋店	*京都市	ジュンク堂書店京都店
さいたま市	ジュンク堂書店 大宮ロフト店	京都市	同志社生協書籍部今出川店
*さいたま市	須原屋本店	大阪市	喜久屋書店阿倍野店
*千代田区	岩波ブックセンター信山社	*大阪市	ジュンク堂書店大阪本店
中央区	丸善丸の内本店	*大阪市	ジュンク堂書店千日前店
*新宿区	芳林堂書店高田馬場店	大阪市	MARUZEN&ジュンク堂 書店梅田店
文京区	東京大学生協本郷書籍部	大阪市	ジュンク堂書店難波店
渋谷区	MARUZEN&ジュンク堂 書店渋谷店	神戸市	ジュンク堂書店三宮駅前店
*豊島区	ジュンク堂書店池袋本店	神戸市	ジュンク堂書店三宮店
立川市	オリオン書房ノルテ店	神戸市	海文堂書店
八王子市	中央大学生協書籍店	姫路市	ジュンク堂書店姫路店
藤沢市	有隣堂書店藤沢店	明石市	ジュンク堂書店明石店
新潟市	ジュンク堂書店新潟店	西宮市	ジュンク堂書店西宮店
*富山市	Books なかだ本店	鳥取市	今井書店吉成店
*金沢市	うつのみや柿木島本店	鳥取市	今井書店グループ センター店
*長野市	平安堂長野店	岡山市	ジュンク堂書店岡山店
長野市	丸善松本店	倉敷市	喜久屋書店倉敷店
静岡市	戸田書店静岡本店	広島市	ジュンク堂書店広島駅前店
静岡市	谷島屋呉服町本店	広島市	MARUZEN 広島店
静岡市	MARUZEN&ジュンク堂 書店新静岡店	東広島市	広島大学生協北1 コープブック書籍部
名古屋市	三省堂書店名古屋高島屋店		

歴史リバイバル2012

*府中町	フタバ図書 TERA 広島府中店	*福岡市	ジュンク堂書店福岡店
広島市	フタバ図書 MEGA 祇園中筋店	福岡市	丸善博多店
松山市	愛媛大学生協城北ショップ	大分市	喜久屋書店熊本店
福岡市	紀伊國屋書店福岡本店	鹿児島市	ジュンク堂書店大分店
		那覇市	ジュンク堂書店鹿児島店
		那覇市	ジュンク堂書店那覇店

歴史書懇話会ホームページ

<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>

歴史書懇話会会員社ホームページ

青木書店	http://www.aokishoten.co.jp/
明石書店	http://www.akashi.co.jp/
校倉書房	http://www.azekurashobo.com/
学生社	http://www.gakusei.co.jp/
汲古書院	http://www.kyuko.asia/
思文閣出版	http://www.shibunkaku.co.jp/
新人物往来社	http://www.jinbutsu.co.jp/
東京大学出版会	http://www.utp.or.jp/
東京堂出版	http://www.tokyodoshuppan.com/
刀水書房	http://www.tousuishobou.com/
同成社	http://homepage3.nifty.com/douseisha/
塙書房	http://www.hanawashobo.co.jp/
法藏館	http://www.hozokan.co.jp/
ミネルヴァ書房	http://www.minervashobo.co.jp/
山川出版社	http://www.yamakawa.co.jp/
吉川弘文館	http://www.yoshikawa-k.co.jp/

これからの刊行予定

歴史としての 東日本大震災

岩本山輝編 (執筆著) 岩本山輝 河野幸夫 菊池慶子 佐々木秀之
東北に暮らす歴史家三人と科学者一人が、体験をもとに
大震災を歴史の中に位置づける。四〇〇年目の烈震・大
津波と東京電力福島第一原発の事故/仙台湾海底遺跡の
発見と仙台平野を襲った貞観津波/失われた黒松林の歴
史復元/消防団体験から書き起こす東日本大震災

口碑伝承をおろそかにするなかれ

刀水歴史全書84
A5上製 一五〇頁 三三〇

ドイツの歴史百話

坂井築八郎著

日本とドイツを行き来しつつ半世紀を歩んだ歴史家が語る、ドイツの文化、歴史。古代ローマ帝国期から東西統一後の現代まで百のエッセイが時代順に綴られる

刀水歴史全書85
四六上製 三三〇頁 三二五〇

身分社会と市民社会

人間科学叢書45

ケヴェルルシエル著/平田 武訳

ハンガリー社会史学界を代表する著者による、ブダペシュ
ト大学のハンガリー近現代社会史講義。同国社会史研
究最新の成果

一九世紀ハンガリー社会史
A5上製 三五〇頁 四八三〇

イメージにひそむ身体

ジャンクロード・シユミット著

中世においてキリスト教美術は如何にイメージを立ち上
がらせてきたのか

小池寿子・廣川暁生・古本高樹訳
A5上製 四〇〇頁 七〇〇〇

中世の視覚文化

世界史の鏡

新しい時代の新しい歴史101冊
樺山紘一編 四六並製 各六〇頁 各一六八〇

歴史を変えた火山噴火

自然災害の
環境史

石弘之著 環瑛1

火山噴火が歴史に与えた影響を辿る新しい環境史の誕生。7万
年前のトバ噴火は甚大な被害を人類に。ナボレオンのロシア遠征
失敗は噴火による「火山の冬」も影響。等、地球科学の進展が
もたらした新知見。過去は警告する

好評目録
11冊

戦争の記憶とイギリス帝国

オーストラリア、カナダにおける植民地ナショナリズム
津田博司著 第一次・第二次世界大戦後、人びとが戦争をどのよう
に「記憶」してきたか
A5上製 二五〇頁 五五四五

ゾロアスター教ズルヴァーン主義研究

ペルシア語文献ウラマー・イエイスラーム/写本の蒐集と校訂
青木 健著 写本のファクシミリ版も併載した「ウラマー・イエ・イ
スラーム」世界初の校訂本
A5箱 四五〇頁 九四四〇

マドナルド「日本回想記」

インディアンの見た幕末の日本(再訂版)
W・ルイス、村上直次郎編/富田虎男訳訂 日本をインディアン
の母国と信じて密航した青年の日本観察記。幕末最初の英語教師
として評価されている
刀水歴史全書86 歴報リバイバルで復刊しました
四六上製 三一〇頁 二二二〇

日本の江戸時代

舞台上上がった百姓たち

田中圭一著 日本の古い体質のシンボル「江戸時代封建論」に真っ
向から挑戦した江戸近代論。「検地は百姓の土地私有の確認であ
る」ことを実証等、日本史全体像の変革を迫る
四六上製 二五九頁 二五二〇

もう一つのスイス史

独語圏仏語圏の
間の深い溝

クリストフ・ビュヒ著/片山淳子訳 多言語国家スイスは「独仏
2言語の溝」を如何に解決したか?
四六上製 二五〇頁 二六二五

好評発売中

9月新刊

刀水書房

tel. 03-3261-6190 fax. 03-3261-2234
http://www.tousuishobou.com

【価格は税込】 千101-0065 千代田区西神田2-4-1
東方学会本館

模索する一九三〇年代

日米関係と陸軍中堅層「新装版」

2625円

加藤陽子 著 戦争と革命の二十世紀。アンチ・システムという点で、意外にも一九三〇年代の日本とアメリカは似ていた。自衛概念や中立概念をめぐる相克を描く。待望の新装版。

〔改訂新版〕★ヒストリカル・ガイド★アメリカ

有賀貞著

B6判 272頁十口絵8頁

1890円

自由主義・民主主義を確立しながら超大国へと成長してきたアメリカ。しかし、9・11事件やサブプライムローン以降の金融不安など、その威信は揺らいでいる。アメリカの歩みを紹介する入門書。最現代を増補。

世界史リブレット

A5変型判

各765円

100 ムハンマド時代のアラブ社会 後藤明イスラームを創始したムハンマドの時代、国家を持たないアラブ社会とはどのようなものだったのか。聖典「コーラン」や伝承から明らかにする。

126 イラク戦争と変貌する中東世界

保坂修司

「アラブの春」以降いまだ混迷が続く中東情勢。テロ問題、石油価格の高騰など激動する中東世界のゆくえを追う。

2013年版

山川歴史手帳

735円

近世朝廷の法制と秩序

田中曉龍

A5判

予価5250円

幕藩体制のもとで一定の機能を果たした朝廷が、いかにして260年間の長きにわたってその秩序を維持する装置としての法制をそなえたか、その実態を解明する。

11月刊行

楔形文字をよむ

ブリジット・リオン セシル・ミシェル 編

中田一郎 日本語版監修 渡井葉子 訳

A4判 1890円

前4千年紀末から3000年以上にわたって中近東で用いられた楔形文字。19世紀中頃から学者たちが試みた解読の歴史を紹介する。

東欧地域研究の現在

柴宜弘／木村真／奥彩子 編

A5判

3780円

かつて、ハプスブルク帝国とオスマン帝国の支配下にあった「東欧」という歴史的地域の冷戦終結後の今を、多角的に考える。

日本史リブレット 人ひと

A5変型判

各840円

22 源義家

● 天下第一の武勇の士 野口実

「文武兼備の名将」と「残虐を事とした暴力装置」という対極的な評価の間で揺れ動く義家の実像に迫る。

41 蓮如

● 乱世の民衆とともに歩んだ宗教者 神田千里

戦国乱世の社会や民衆と切り離すことのできない、蓮如の生涯と伝導について考える。

山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13

(表示は税込み)

電話 03-3293-8131 <http://www.yamakawa.co.jp>

負からこそ見える歴史がある！

敗者の日本史

全20巻
刊行開始

〈企画編集委員〉 関 幸彦・山本博文
なぜ敗れたのか？ 新たな視点で豊かな歴史像を築く。毎月1冊配本予定「内容案内」送呈



大化改新・源平争乱・関ヶ原合戦・赤穂事件・戊辰戦争・太平洋戦争…

⑥ 承久の乱と後鳥羽院
関 幸彦著 〈第1回配本・発売中〉 2730円
「道ある世」をめざした治天の君はなぜ敗れたのか？

⑦ 箱館戦争と榎本武揚
樋口雄彦著 〈第2回配本・10月発売〉 2730円
旧幕臣たちは維新後の明治をいかに生き抜いたのか。

動乱の東国史

全7巻刊行中 毎月1冊配本
各2940円

◆ 第2回・第3回配本の2冊
⑦ 東国の戦国争乱と織豊権力
池 享著 〈発売中〉 東国にとつての「天下統一」を問う！
湯浅治久著 〈最新刊〉 地域社会に芽生えた幕府崩壊への兆し。

歴史文化ライブラリー

353 日本人の姓・苗字・名前 大藤 修著
人名に刻まれた歴史 人名から「日本」「日本人」とは何かを考える。1890円
354 沖縄 占領下を生き抜く
川平成雄著 軍用地・通貨・毒ガス 1785円
今もアメリカの極東戦略に翻弄され続ける沖縄民衆の苦難の歴史を描く。
355 金属が語る日本史 齋藤 啓著
銭貨・日本刀・鉄砲 日本に受け継がれてきたものづくりの精神とは？ 1785円
356 家庭料理の近代 江原絢子著
カレー、肉じゃが、シチュー…。今日の食卓を豊かにした「食の文明開化」。1785円



古事記はいかに
読まれてきたか
齋藤英吾著 〈神話〉の変貌
度会家行・吉田兼俱・多人長：本居宣長「古事記伝」にいたる歴史に埋もれた読み手たち。 2520円



松平定信
高澤憲治著 2205円

寛政の改革を推進した江戸後期の老中。改革の行方と、文人として評価された稀代の生涯を辿る。〈人物叢書27〉

明治維新

（日本近世の歴史⑥）

青山忠正著 2940円

明治政府による全国統治の体制が成立する時代の様相を、新たな視点で描く。

日記に読む近代日本 ① 幕末・明治前期 井上 勲編
動乱を生きた人々の日記に、思想と心情と行動の諸相を問う！ 〈全5巻完結〉 3045円

読みなおす日本史 好評刊行中

環境先進国・江戸

鬼頭 宏著 現在にも通じる地球との共存を探った先見の名著。 2205円

料理の起源

中尾佐助著 日常行われる食糧の加工・料理に、初めて学問的なメスを入れた労作。 2205円

吉川弘文館



歴史手帳

2013年版 900円

（価格は5%税込）

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2 / 電03-3813-9151

愛用されて半世紀！日記を兼ねる歴史知識の宝庫。

歴史書懇話会

会員社名簿

- 青木書店 175-0092 板橋区赤塚8-12-12 (板橋営業所) <担当者・古川 清>
TEL. 03-5997-4051 FAX. 03-5967-7691
- 明石書店 101-0021 千代田区外神田6-9-5 <担当者・矢澤伊作>
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1180
- 校倉書房 169-0051 新宿区西早稲田1-1-3 <担当者・石田 亘>
TEL. 03-3203-4851 FAX. 03-3203-4854
- 学生社 123-0864 足立区鹿浜3-27-14 <休会>
TEL. 03-3857-3031 FAX. 03-3857-3037
- 汲古書院 102-0072 千代田区飯田橋2-5-4 <担当者・宮崎 淳>
TEL. 03-3265-9764 FAX. 03-3222-1845
- 思文閣出版 605-0089 京都市東山区古門前通大和大路東入元町355<担当者・井熊勇介>
TEL. 075-751-1781 FAX. 075-752-0723
- 新人物往来社 102-0083 千代田区麹町3-2相互麹町第一ビル<休会>
TEL. 03-3221-6031 FAX. 03-3221-6641
- 東京大学出版会 113-8654 文京区本郷7-3-1 (東大構内) <担当者・角田光隆>
TEL. 03-3811-8814 FAX. 03-3812-6958
- 東京堂出版 101-0051 千代田区神田神保町1-17 <担当者・鈴木 淳>
TEL. 03-3233-3741 FAX. 03-3233-3746
- 刀水書房 101-0065 千代田区西神田2-4-1 <担当者・中村文江>
TEL. 03-3261-6190 FAX. 03-3261-2234
- 同成社 102-0072 千代田区飯田橋4-4-8 <担当者・榎 祐典>
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466
- 塙書房 113-0033 文京区本郷6-8-16 <担当者・関口守俊>
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617
- 法藏館 600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 <担当者・西村明高>
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458
- ミネルヴァ書房 [本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0052 千代田区神田小川町2-4-17 大宮第一ビル6F
TEL. 03-3296-1615 FAX. 03-3296-1620<担当者・杉田信啓>
- 山川出版社 101-0047 千代田区内神田1-13-13 <担当者・西田 智>
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994
- 吉川弘文館 113-0033 文京区本郷7-2-8 <担当者・横井真木雄>
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2012年11月1日発行・第204号

発行 歴史書懇話会

〒113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)

取扱店